

「コロナ禍の中で「不要不急」という言葉をよく聞きます。

医学会からも「不要不急の処置や手術は避けるように」と言われています。不要な処置や手術というものは元々ありませんが、不急ということでは、何が当てはまるかは難しいところです。

けがや骨折は緊急な治療が必要で、体のどこかが腫れて熱があるとか、急に痛くなってきたとか、放っておくと悪くなるものは不急ではありません。

皮膚がんも、できれば早く治療したほうが良いでしょう。専門家でも皮膚がんを見ただけでは分かりにくいの

一筆



熊本赤十字病院

形成外科部長

黒川 正人

2020.5.13

不要不急

で、拡大して見る検査や、一部分を切り取って顕微鏡で細胞を見る検査をして診断します。皮膚のできものも、初めは良いものでも、時間とともに悪くなることもあります。

一般的には1〜2カ月で急に大きくなってきたものや、出血するとか、色が変わってきたとか、変化がある場合は注意する必要があります。

がんという皆さん非常に心配されますが、皮膚がんは早期であれば転移や再発は少ないので手術だけで治り、抗

がん剤や放射線の治療は不要なことが多いです。ただし、種類によっては手術ではなく他の治療が選択されることもありますので、専門医と良く相談してください。

大型連休が終わりました。例年この時期は、外出時の事故などで骨折やけがの患者さんが増えるのですが、「ステイホーム」の影響で非常に少なくなっています。まだ自粛は必要ですが、活動を控えることで逆に体調を崩さぬようにお気を付けください。